

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	久留米信愛女学院短期大学	整理番号	2-5-014
応募テーマ	主として大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	地方都市における地域参画型短期大学教育		
申請単位	短期大学全体		
申請担当者	関 聡		
(取組の概要) 久留米市の要請で設置された本学は、開学以来、地域と密着した短期大学教育を展開してきた。平成４年に「生涯学習センター」を設置し、地域のニーズに基づき様々な生涯学習プログラムを実施するとともに、高齢者支援プログラムや子育て支援プログラム、地方自治体や地場産業との連携プログラムを実施してきた。地域貢献事業と平行して本学は、学生ボランティア促進プログラムやインターンシップ、行政や市民団体との学生参画イベントの奨励など地域の教育力を組み入れた短期大学教育を行ってきた。 平成１５年度、本学は、より一層地域社会と結びついた教育・研究活動を展開し、教職員・学生・卒業生が協同して地域貢献活動を行い、地域の教育力と本学の教育力を統合した短期大学教育を開発するため、地域参画型短期大学を創造することを教職員全員で決議し「久留米信愛女学院短期大学 地域参画宣言」を行い、行政や地場産業及び市民と密接につながった短期大学教育を実施している。			
(採択理由) この取組は、久留米信愛女学院短期大学が開学から使命とする「地域社会と結びつき地域社会に貢献する」を達成するために、既に１２年以上にわたって組織的に実施され、生涯学習センターやオープンカレッジに実証されるように大きな成果をあげています。 現在、大学、短期大学には、地域・社会との連携に対応できる特色ある教育が求められており、この取組の「教職員と学生が主体的に取り組む地域共生的活動」という点はこうした社会の多様な要請に十分応える優れた取組であると認められます。特に、平成４年からの取組を平成１５年度に改革し、地域参画推進室と地域参画推進センターへの名称変更や地域参画推進連絡協議会の設立、信愛コラボレーションプラザ及び地域参画宣言については先進性も見られ、今後、国民のボランティア精神の涵養が求められつつあることを鑑みれば、この取組は他の短期大学の参考になり得る優れた事例であると言えます。			